

オリンピック・パラリンピック
出場経験者よりスポーツへの情
熱と皆様への熱いメッセージを
お届けします。

スマイルアスリート 湯浅 直樹さん

私は、9歳の頃にアルペンスキーに出会い、その時に「アルペンスキーで世界一になる」という目標を掲げました。それ以降、アルペンスキーは、私の生活の中心になりました。そして、2012年にイタリアで行われたワールドカップで3位になりましたが、目標の道半ばでした。

2017年に、北海道の阿寒町で行われた全日本スキー選手権大会において優勝し、3度目のオリンピックへの出場権を獲得。そして、2018年2月に行われた平昌オリンピックに満を持して臨みましたが、自分の力を発揮することができず、途中棄権に終わってしまいました。この悔しさをバネに次回オリンピックのメダル獲得に向けて、新たな気持ちでこれまで以上に力強く歩み続けたいです。



悔しさをバネに……!



ドタバタの初オリンピック

私が初めて出場したオリンピックは、2006年のトリノオリンピックです。しかし、自分がこのトリノオリンピックに出場できることを知ったのは、オリンピックが始まる2週間前。当時、ヨーロッパでワールドカップおよびヨーロッパカップの転戦中であつた私に、母からメールが届き、そこで初めて自分がオリンピックに出場できることを知りました。さらに、オリンピックの大会直前に行われるヨーロッパカップに参戦していたので、トリノの会場に入ったのは、なんと前々日！何から何までドタバタの初オリンピックでした。



熱い気持ちが彩りに……

私が行っているアルペンスキーは外で行う競技です。また、上から下ま

「ゆあさ なおき」さん
アルペンスキー競技で、2006年トリノ、
2014年ソチ、2018年平昌五輪に出場。

で数キロもある山の斜面を丸ごと使う種目もあるため、多くの人の助けを必要とします。

また、今回出場した平昌オリンピックは、ほぼ毎日氷点下という過酷な気温の中で競技が行われました。

しかし、ボランテアの方はどの人も、自国で行われるオリンピックを成功させようという使命感と、4年に1度行われるスポーツの祭典を楽しんでいる笑顔に溢れていたのが印象的でした。ボランテアの方の熱い気持ちがオリンピックを彩っていくのだと感じました。

〈質問〉毎日続けていることがあれば
教えてください！

私は365日、毎日必ずアルペンスキーの動画を見ています。私は、長年競技者としての活動を通して、イメージ通りに体を動かすことの大切さと難しさを実感しました。仮にイメージ通りに体を動かすことができたとしても、イメージがあいまいで間違つたものでは意味がありませんよね。そこで私は良いイメージをより鮮明に持てるように、優秀な選手や自分が目標としている選手が滑走している動画を毎日見えています。最近はスマホなどで動画を簡単に見ることができるのでとてもありがたいですね。

「クイズ」 アスリートからの挑戦状

Q これまでのオリンピック大会では、アルペンスキー競技において日本人が出した最も良い成績は銀メダルである？○か×か。

(回答はウラ面)

「どさんこ選手を讃える会」ボランティアに
「ご参加いただきありがとうございます！」

2018年5月6日(日)、平昌オリンピック・パラリンピックに出場した北海道出身の選手の活躍を祝う「どさんこ選手を讃える会」に、37人の皆さんにボランティアのご協力をいただきました。

讃える会は、道庁本庁舎前広場で開催。スピードスケート競技の高木菜那選手、美帆選手をはじめとした選手43人を前に、たくさんの観客が集まりました。スマイル・サポーターズの皆さんは、観客の混雑を避けるために会場整理などで活躍していただきました。当日はあいにくの雨でしたが、皆さんの頑張りのおかげでイベントは盛り上がり、無事終了することができました。寒い中、本当にお疲れ様でした。

主催者もスマイル・サポーターズの活躍には感謝していただきました。GW期間中にもかかわらず、たくさんのご協力をいただき、ありがとうございました！



【スマ・サポ活動風景】

「第3回札幌ランニングフェスティバル」でのボランティア
「ご協力ありがとうございました！」

5月26日(土)、27日(日)「第3回ランニングフェスティバル」のボランティアにのべ約20人のボランティアのご協力をいただきました。雪も溶け、5月の過ごしやすいつ時期に行われるマラソン大会。スマイル・サポーターズのみならず、皆さんの活躍に主催者も喜んでおり、ランナーにも皆さんの笑顔や声援が届いたことと思います。

マラソンシーズンも到来し、今後多くさんのマラソン大会を控えています。ぜひぜひ皆さんのご協力をよろしくお願いたします！

連載 Road to 2019



ラグビーW杯2019 日本招致活動の歩み

ラグビーW杯2019
大会チケット情報
詳細はWEBで！

↓チケット購入はこちらから！



ラグビーW杯2019の日本招致活動の背景をご存じでしょうか。1987年に第1回大会が開催されてから、ヨーロッパやオセアニアなどラグビー強豪国での開催が続いていたため、2004年にアジアで初の開催を目指し、日本ラグビーフットボール協会が2011年第7回大会の招致活動を開始しました。2005年11月に国際ラグビー評議会で、第7回大会はニュージーランドに決定し、日本は破れたものの、アジア地域からの招致活動が初めてであり、日本の評価が高かったといわれていました。その後、日本が2015年第8回大会の招致活動をしている中、国際ラグビー評議会が第8回、第9回大会の開催地を同時決定することを発表。そして、2009年、第8回大会にイングランド、第9回大会に日本とする案が承認され、悲願の日本開催が決定しました。

ラグビーW杯の招致を始めてから、10年以上の年月が経ち、待ちわびていた日本での開催が2019年と目前に迫っています。歴史的瞬間をみなさんで見届けましょう！

ラグビーW杯2019
日本開催までの努力に迫る！

スマ・サポ インフォメーション

詳しい情報はSGSCのHPから！
<http://www.sapporosports.org/volunteers/>

★今後のスマ・サポ活動予定★

○北海道コンサドーレ札幌2018シーズン運営ボランティア7月以降も随時募集

○第28回 日本シニアオープンゴルフ選手権 (募集終了)

7月9日(月)～15日(日)

○ラグビーW杯2019 ※5月末で団体募集は終了しましたが、個人募集は7月18日(水)まで受付しております。

なお、団体募集をいただいた方は、主催者側から届く仮登録メールに必ずご自身で承認し、本登録を完了するようお願いいたします。

○北海道マラソン2018 (募集中)8月24日(金)～26日(日)

※6月29日(金)まで募集していますが、定員達ししだい締め切りいたします。

注意:一斉送信メールにそのまま返信してもSCSG事務局にメールは届きません。

必ず、事務局アドレス spovol@sapporo-plaza.or.jp にご連絡下さい。

※少人数または急遽のボランティア要請の場合、メール配信のみのご案内もありますので、ご了承ください。

The sole meaning of life
is to serve humanity.

～人生の唯一の意味は、
人のために生きることである～

トルストイ (ロシアの小説家/1828～1910)

募集詳細はHP上またはメールでお知らせいたします！

クイズのこたえ:○ 意外なことにまだ金メダルは出ていないんです！